

2009年度

科目名	英語科教材研究		
担当教員	三木 徹		
配当	教福3	コード	55000
開期	通年	講時	金曜日5限
		単位数	4
授業テーマ	中学校・高等学校の英語教科書を使用した教材分析と指導案作成、および模擬授業を通じた実践力強化		
目的と概要	中学校・高等学校の英語教科書を使用し、教材のポイントの把握と具体的な指導案の作成に習熟してもらいます。英語を教える際には、教える側の英語力もさることながら、教材のポイントを把握する分析力と効果的な授業のシナリオを完成させる構築力が問われます。また、様々な指導方法を取り入れた模擬授業による実践的な訓練を行ない、理論だけに終わらない実践的な英語の教授法の授業とする予定です。		
成績評価法	模擬授業で使用する指導案、模擬授業でのパフォーマンス、定期的に提出してもらうレポート、毎回の小テスト、以上の4点と出席状況が評価の基準となります。		
テキスト	プリントを配布します。		
参考書	図書館の指定図書と2回生で使用した「英語科教育法」のテキスト		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリント配布 / 授業の進め方について説明 / シラバスデザインについての解説</li> <li>2. 中学校と高等学校の英語教科書のシラバス分析</li> <li>3. Oral Methodの紹介と体験－Oral Introductionに焦点を合わせて</li> <li>4. Total Physical Responseの紹介と体験</li> <li>5. Natural Approachにもとづく指導法の紹介と体験 / 第1回レポート課題</li> <li>6. 過去の実習生の指導案を教材とした教材分析と指導案作成の実習(1)－導入</li> <li>7. 過去の実習生の指導案を教材とした教材分析と指導案作成の実習(2)－展開</li> <li>8. 高等学校英語教科書を使った和訳先渡し授業の紹介(1)－InputとIntake</li> <li>9. 高等学校英語教科書を使った和訳先渡し授業の紹介(2)－Output</li> <li>10. 和訳先渡し授業の実践(1)－指導案と教材プリントの解説</li> <li>11. 和訳先渡し授業の実践(2)－指導案にもとづく体験授業 / 第2回レポート課題</li> <li>12. 中学校英語教科書を使った音読中心の授業の紹介(1)－音読と文法</li> <li>13. 中学校英語教科書を使った音読中心の授業の紹介(2)－音読からスピーチ</li> <li>14. 音読中心の授業の実践</li> <li>15. 英語での指導案の書き方の解説と実習 / 第3回レポート課題</li> <li>16. グループ分け / 後期の授業について説明 / 前年度の模擬授業の紹介</li> <li>17. 中学校1年生を想定した模擬授業(導入・展開)と相互評価</li> <li>18. 中学校2年生を想定した模擬授業(導入・展開)と相互評価</li> <li>19. 中学校3年生を想定した模擬授業(導入・展開)と相互評価</li> <li>20. 高等学校英語 I の模擬授業(導入・展開)と相互評価</li> <li>21. Oral Communicationの模擬授業(導入・展開)と相互評価</li> <li>22. 第1回目の模擬授業の分析と反省(1)</li> <li>23. 第1回目模擬授業の分析と反省(2)</li> <li>24. 中学校1年生を想定した模擬授業と相互評価</li> <li>25. 中学校2年生を想定した模擬授業と相互評価</li> <li>26. 中学校3年生を想定した模擬授業と相互評価</li> <li>27. 高等学校英語 I の模擬授業と相互評価</li> <li>28. Oral Communicationの模擬授業と相互評価</li> <li>29. 第2回模擬授業の分析と反省(1)</li> <li>30. 第2回模擬授業の分析と反省(2)</li> </ol>			